

「サステナブル防災都市・建築学寄附講座」
2018年度シンポジウム

東京都国分寺市の防災まちづくり

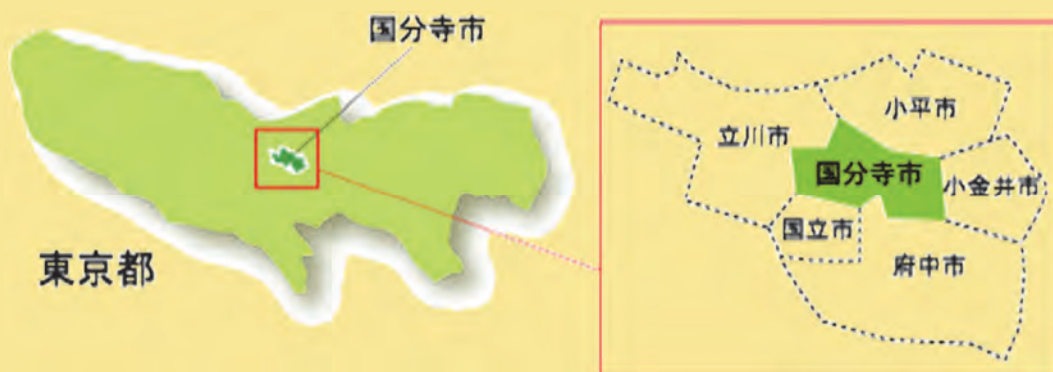
平成30年11月26日(月)

国分寺市総務部防災安全課

防災まちづくり係 東福 美希

1

国分寺市の紹介



昭和39年市制施行, 都内14番目の市

東京都の中央

東西約 5.68km, 南北約 3.86km, 面積 11.46km²

大部分は武蔵野段丘上のほぼ平坦地

2

1.国分寺市の防災都市づくり

(1)防災都市づくりの取組み(背景)

①昭和30年代後半からの
経済成長による都市化



+

②各地での大地震
昭和39年 新潟
昭和43年 十勝沖 等



+

③国分寺市の周辺状況の認識

- ・南関東地域での大地震69年周期説の公表
- ・立川断層をはじめとした災害危険要因の増大

3

(2)国分寺市における防災都市のあり方

昭和49年 防災都市づくり開始



昭和50年
「都市の安全性を考える委員会」設置

昭和52年
防災都市づくりの方向性決定(答申)

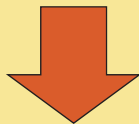
- ①地域における防災まちづくりの推進
- ②市民の自主参加
- ③防災都市づくりを行政が進める上での横断的組織体制の確立
- ④都市基盤整備の推進

4

2.国分寺市防災まちづくりの取組

＜防災まちづくりの課題＞

防災を担う人材の育成



地域の防災力の維持には
絶え間ない人材育成が必要！！

5

(1) 市民防災まちづくり学校 昭和53年度～

市民学習の場を提供し、市民自らが「安全で住みよいまちづくり」「地域社会づくり」に関心を持つ

【受講期間】6月から2月まで概ね月1回(全11回)

【講師】市職員、専門家(大学教授、獣医師等)、市民

【講座形態】座学(講演やグループワーク)、見学(防災関連施設等)、実技(上級救命講習等)

(2) 国分寺市民防災推進委員 昭和55年度～

市民防災まちづくり学校修了者が地域に戻り防災の普及・啓発活動を行いやすくするため、申出者に対して市長より認定を行う

(3) 国分寺市民防災推進委員会 昭和59年度～

市民防災推進委員同士の交流の場、全市的な活動等を行う

6

(4) 国分寺市防災まちづくり推進地区

昭和56年～

防災まちづくりを通じて

- ◆ 地域社会の安全及び防災力の向上
- ◆ 市民主体の防災環境づくり
- ◆ 地域コミュニティづくり
- ◆ 災害に強いまちづくり及び人づくり



目標

- ◆ 地区単位の防災コミュニティづくり
- ◆ 地区の意向と合意を基本とした安全な環境づくり
- ◆ 災害時における自主的な防災活動体制づくり
- ◆ 地区防災計画の策定

防災まちづくり推進地区世帯、人口

※平成30年6月1日現在

	地区名	協定	面積 km ²	世帯数	人口
1	高木町自治会	S56.2.13	0.352	1,275	3,114
2	本多連合町会	S57.1.16	0.654	4,741	8,726
3	泉町三丁目地区連合自治防災会	S59.1.23	0.163	1,698	3,100
4	東恋ヶ窪六丁目自治会	S60.5.23	0.125	866	1,794
5	新町地区連合自治防災会	H6.12.22	0.311	1,410	3,500
6	国立団地協議会	H8.5.13	0.022	105	238
7	戸倉自治会中・西・北地区防災会	H14.2.16	0.906	3,477	7,961
8	西町弁天町内会	H17.8.21	0.345	1,490	3,325
9	西町友和会	H18.9.3	0.029	166	360
10	光町北部自治会	H20.7.13	0.741	1,822	3,811
11	戸倉自治会東地区防災会	H22.3.29	0.370	1,703	3,636
12	けやき台分譲団地管理組合	H26.2.18	0.036	290	542
13	西恋ヶ窪一丁目地域連合防災会	H27.6.14	0.280	1,086	2,117
14	内藤・日吉地域連合防災会	H28.11.26	1.143	5,317	11,270
	合計		5.477	25,446	53,494
	国分寺市		11.460	59,848	123,029
	カバー率		47.8%	42.5%	43.5%

防災まちづくり推進地区の指定

自治会・町内会等

協定締結申出

推進地区指定

審査

協定締結

防災まちづくり
推進地区

1年目

2年目

3年目

4年目

コンサルタント派遣

住民
アンケート

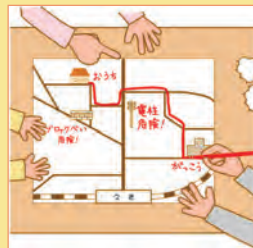
防災診断
地図作成

地区防災計画
作成

地区防災計画策定

地区防災計画に基づき
防災まちづくり活動継続

防災資機材助成
(100万円を限度)



9

防災まちづくり推進地区への支援

◆地区防災計画の策定

- 会議実施のための施設の確保
- 防災まちづくりに関する専門家と職員の派遣
- 防災マップ作成, 意識調査, 意向調査の実施とまとめ
- 防災ニュース発行の支援(用紙・印刷)

◆防災バス視察研修

◆10万円の防災資機材等の助成(5年目以降防災バス視察研修との選択制)

◆他の防災まちづくり推進地区との情報交換・連携

◆防災資機材等の助成(協定締結後4年目)

10

地区防災計画の策定状況

	地区名	協定締結	地区防災計画 策定	地区防災計画 改定	地域防 災計画
1	高木町自治会	S56.2.13	S59.3.31	H28.1.31	○
2	本多連合町会	S57.1.16	S60.11.30	H29.3.31	○
3	泉町三丁目地区連合自治防災会	S59.1.23	H元.3.31	見直し中	—
4	東恋ヶ窪六丁目自治会	S60.5.23	H元.3.31	H28.10.31	○
5	新町地区連合自治防災会	H6.12.22	H10.3.31	見直し中	—
6	国立団地協議会	H8.5.13	H11.3.31	H30.3.31	○
7	戸倉自治会中・西・北地区防災会	H14.2.16	H17.3.31	見直し中	—
8	西町弁天町内会	H17.8.21	H20.3.31	見直し中	—
9	西町友和会	H18.9.3	H21.3.31	——	—
10	光町北部自治会	H20.7.13	H22.3.31	——	—
11	戸倉自治会東地区防災会	H22.3.29	H25.3.31	——	—
12	けやき台分譲団地管理組合	H26.2.18	H29.3.31	——	○
13	西恋ヶ窪一丁目地域連合防災会	H27.6.14	H30.3.31	——	○
14	内藤・日吉地域連合防災会	H28.11.26	H31.12.27予定	——	—

11

ご清聴
ありがとうございました



高木町自治会の具体的な取組については、
高木町自治会会長櫻井氏の発表をお聞きください。

12

高木町自治会における 防災活動のご紹介

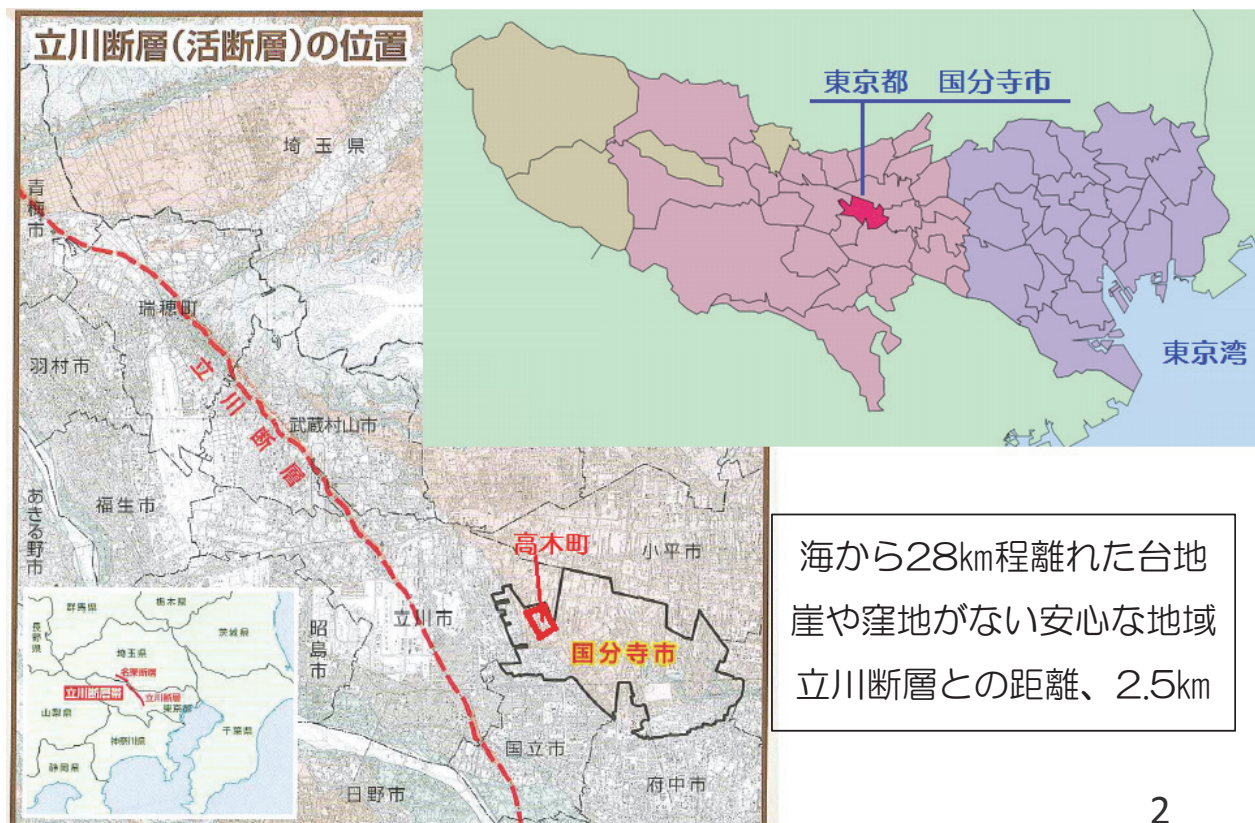
地区防災計画を地区の防災活動に生かす取り組み

東京都国分寺市高木町自治会

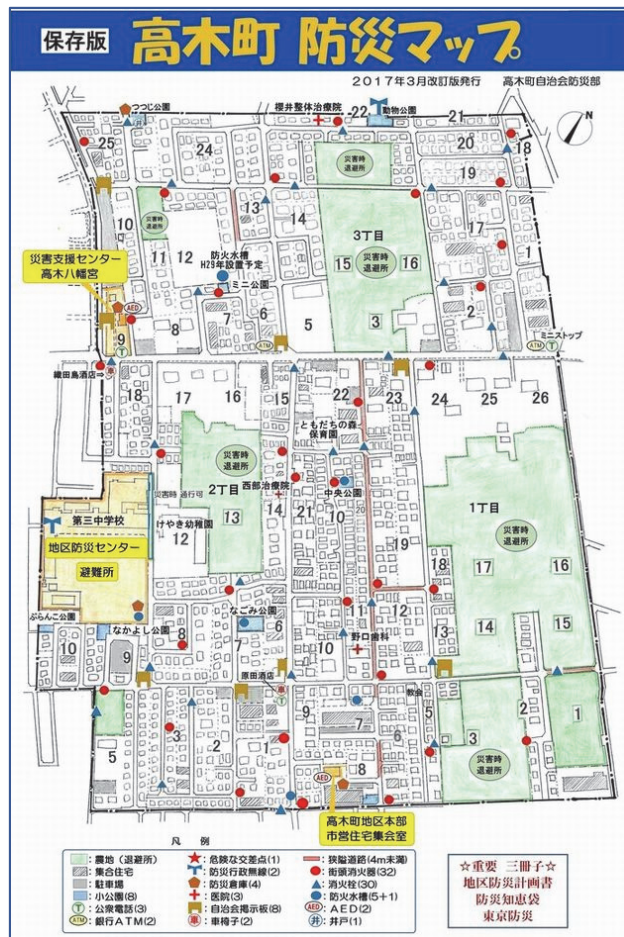
自治会長 櫻井 幹三

1

国分寺市・高木町はこんな場所



2



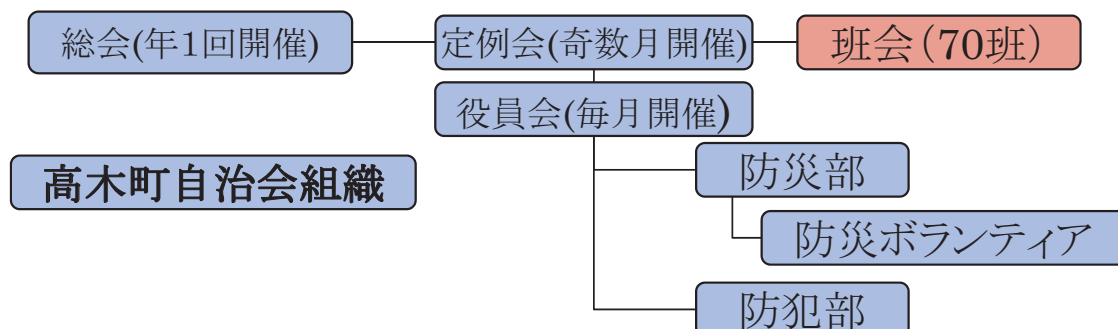
まちの大きさ
南北：約700m
東西：約450m

1981：高木町防災危険地図発行
2011：高木町防災マップ(改名し改定)
2017：高木町防災マップ(改定)

3

高木町の自治会活動と防災部の発足

1200世帯・3100人が暮らす閑静な住宅街
昭和42（1967）年から続く自治会には830世帯が加入
班を中心とした活動で地域の一体感を目指している



昭和57年当時、地震以外の災害が考えられない中
防災部を発足させ、以来地道な防災活動を実施している

4

高木町まちづくりのあゆみ

昭和42(1967)年	高木町自治会発足
昭和57(1983)年	防災部を設置
昭和59(1984)年	地区防災計画書作成)
昭和61(1986)年	高木町へいづくり憲章制定
平成 7(1995)年	高木町まちづくり宣言成立
平成 8(1996)年	ふるさとづくり大賞(総理大臣賞)受賞
平成24(2012)年	防災知恵袋作成
平成26(2014)年	地区本部設置の検討⇒地区本部運営マニュアル 安否確認を中心とした防災訓練開始
平成27(2015)年	重点課題に特化した地区防災計画策定
平成28(2016)年	災害時行動プロジェクト 物資配布訓練開始
平成29(2017)年	防犯部を発足(4月) 防災まちづくり大賞総務大臣表彰を受賞 防災功労者総理大臣表彰を受賞

5

高木町に住む私たち住民は、安全で住みよいまち、
心の通いあう地域社会を築くため、
次のような「へいづくり」をめざします。

- 1、緑豊かな町を生け垣で守りましょう
- 2、お隣と会話のできるへいにしましょう
- 3、歩行者の安全を考えたへいにしましょう
- 4、子どもの命を守るへいにしましょう
- 5、町並みの美しさを考えてへいをつくりましょう

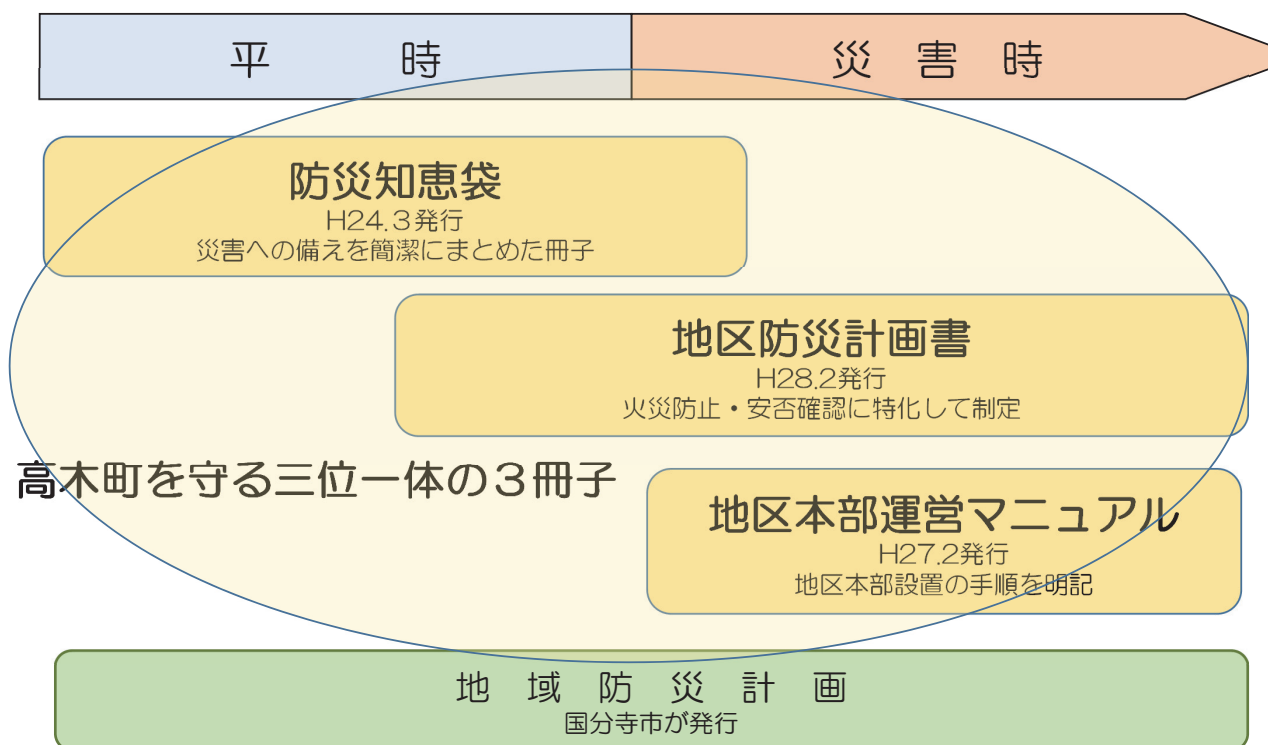
高木町へいづくり憲章
昭和61(1986)年 制定

高木町まちづくり宣言
平成7(1995)年に成立

1. 農地・農業や自然の営みと住民生活が共存できるまちづくりをめざします
2. 安全で美しい堀づくりを心がけます
3. 誰でも安心して歩ける道づくりや憩える公園づくりをめざします
4. 近隣の日照や町並みなどに配慮した建物づくりを目指します
5. 駐輪・ごみ置場・騒音などに配慮し、生活環境ルールを守ります
6. 近隣とのコミュニケーションを一層心がけます
7. 住民同士が協力すると共に、行政や専門家と連携してまちづくりを進めます
8. まちづくりに取り組む姿勢とみんなで育んだ環境を次代に引き継ぎます

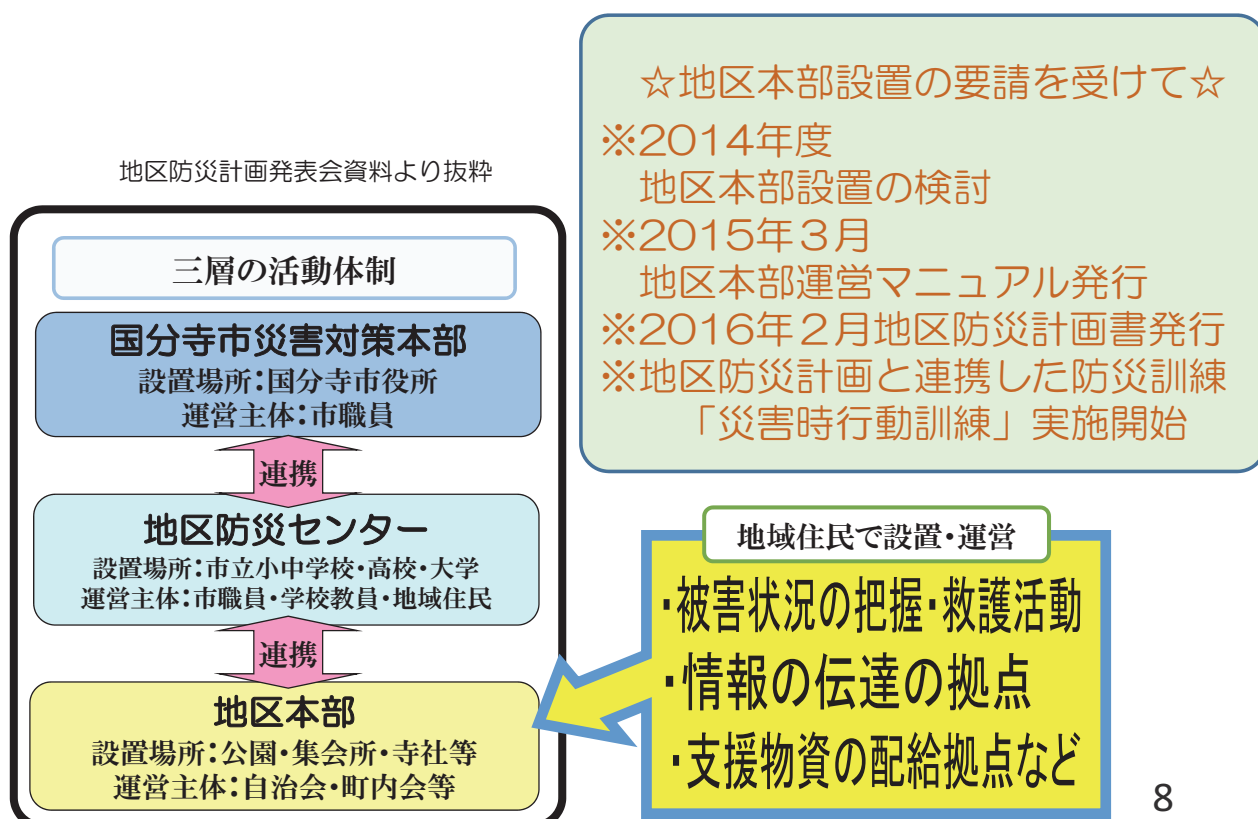
6

平時から災害時へ、連続した災害対策



7

国分寺市の災害時体制⇒地区本部の設置と運営



8

地域の課題と地区防災計画策定(H27年度)

☆道路が狭く消火困難地域☆
 ☆立川断層帯他、地震災害の確率は高い☆
 <地区本部と連携できる地区防災計画>
 地区防災計画を防災活動に生かす



○火事を出さない！
 ○災害時の確実な安否確認の実施！
 にテーマを絞った防災計画

○災害時行動訓練 (H26～)
 ○地区防災計画勉強会
 ○地区本部要員訓練 (H27～)

安全カードを玄関ドアに掛ける
 災害時行動訓練での様子



高木町が取組む防災訓練 (H26～)

1. 災害時行動訓練・資機材体験

班中心で安否確認を実施
 (災害時行動訓練)



防災資機材の体験訓練

地震について私の対応
 (全戸配布)
 災害時の行動
 普段の心構え
 地域内での助け合い
 裏面：地区本部に関する記述

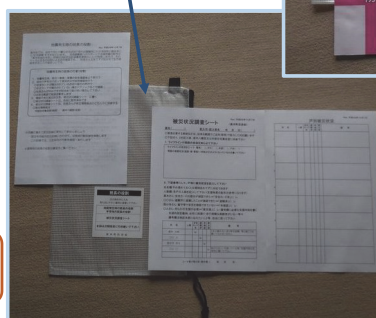
事前準備

災害への私の備え
 袋と共に配布



災害発生時の班長の役割
 (班長に配布)
 班長がやる
 安否確認手順を記述

事前準備を経て防災訓練に臨む！



地区本部要員
 の訓練も兼ねた

高木町が取組む防災訓練 (H26～)

2. 物資配布訓練

- 第1回：H29年2月(819世帯)
○アルファ米・ビスケットの2品目
○仕分け1日・配布4日
- 第2回：H29年7月(828世帯)
○荷造りひも(資源物回収協力お礼)
○仕分け1日・配布3日
- 第3回：H30年2月(831世帯)
○アルファ米など7品目
○仕分け1日・配布4日



3. 地区本部要員訓練

- 第1回：H27年7月
安否確認データの登録手順確認訓練
- 第2回：H30年2月
主要者不在を想定した立ち上げ訓練
- 第3回：H31年1月 実施予定



11

飽きずに続けている活動

防災力向上と啓発

研修会(6月)・救急法講習会(7月)・学習会(2月)
防災まちづくり通信の発行(年4回)

防災ファミリーひろば(毎年秋に実施)

防災訓練・炊き出し・むかしあそび

家庭用消火器の斡旋(自治会が購入費の一部補助)

初期消火訓練

防災ファミリーひろば・災害時行動訓練等で実施

防災資機材購入費用の確保

資源物回収金と東京都助成制度を活用!

防犯への取り組み(防犯部主体の活動)

学童の登下校時見守り・冬季の夜回

12

防災力の強化は継続から

昭和56年(1981)以来継続した防災活動

当たり前のことを飽きずに淡々と実行

防災活動は必ず役に立つ、との思い

訓練は裏切らない、を信じて

後継者・人材確保

高齢化は避けられない⇒若い世代へのシフト

人材確保：各種イベントに参加の人

防災まちづくり学校修了者

13

ご清聴ありがとうございました

14